

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0406	6次産業化推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------------------------------------------	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
商品開発の素材掘り起こし

《事業開始の背景》
料理コンテスト等は、花巻産農畜産物活用促進事業として実施していたが、23年度予算でハード事業が6次産業起業家応援事業として商工振興費に集約されたことに伴い、ソフト事業として事業化された。

《事業概要》
○ 6次産業化推進
料理コンテストの開催、普及活動等

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 雑穀料理提供店	店	目標	14	50	
		実績	43	60	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	農林部	農政課	藤原 啓昭	6-293

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		426				
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他	150				
	一般財源	276				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

6次産業化推進事業 425,798円

◆料理コンテスト「ひえカレーアイデアメニューコンテスト」の開催

- 内容 「ひえカレー」を活用したオリジナル料理コンテスト
- 応募数 56点(42名)
- 審査 1次審査(レシピ審査) 5作品を選出
2次審査(調理・試食審査)
- 表彰 最優秀賞1点、優秀賞1点、佳作1点、奨励賞2点
※表彰式は「はなまき産業大博覧会」において実施。
合わせて、農業ブースにて試食会を行い、アンケート調査を実施。
- 事業費 362,789円
(内訳)
 - 8節 報償費 賞金 90,000円
(最優秀賞5万円、優秀賞2万円、佳作1万円、奨励賞5千円)
審査員謝礼 79,200円 (審査員3名×26,400円)
2次審査用試作品作成謝礼 15,000円(5点×3,000円)
参加賞 20,350円 (受賞者以外の参加者37名に贈呈)
 - 11節 消耗品費 表彰式消耗品代 8,064円
 - 印刷製本費 ポスター・チラシ作製費 140,175円
 - 12節 通信運搬費 参加賞発送用レターパック代 10,000円

これまでの料理コンテスト
平成21年 「花巻を食べよう!家庭料理コンテスト」
平成22年 「雑穀ランチコンテスト」
平成23年 「雑穀スイーツコンテスト」
平成24年 「イーハトーブのヒエひつまみレシピコンテスト」

◆花巻市商品応援事業
花巻市産農畜産物等を活用して製造された商品、または、花巻市内で生産・製造された農畜産物・商品等の情報発信及びPR等の応援を行うことで、購買・消費意欲の向上を図り生産振興と消費拡大に資することを目的とする

「花巻市応援商品マーク」デザイン作成手数料 63,000円

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0406	6次産業化推進事業

総合計画	政策	地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり	施策	2次・3次産業との融合による強い1次産業の育成
	1		1-1	
目的	商品開発の素材掘り起こし			
対象	<ul style="list-style-type: none"> 市内の飲食店、食品加工業者、旅館・ホテル業者 市内の消費者 			
意図	市内の企業や消費者に花巻産農畜産物の利用拡大を図ってもらう。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○6次産業化推進
料理コンテストの開催、普及活動等

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① コンテストレシピ応募件数	件	計画	50	50	
		実績	82	56	
② 料理教室開催回数	回	計画	4	5	
		実績	4	3	
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 雑穀料理提供店	店	目標	14	50	
		実績	43	60	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

雑穀を活用した菓子等、雑穀商品に加え、「ヒエカレールー」を活用した料理を扱う料理提供店が増えた。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

- 入賞作品について新聞等で報道され、関心が高まった。
- 製菓店などでも雑穀商品の開発に意欲が見えてきた。

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	<p>素材の掘り起こしには公共関与が必要である。</p>
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	<p>雑穀については商品化への道筋が来てきたが、その他の素材の掘り起こしの余地はある。</p>
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	<p>ブラッシュアップは事業者で行うこととしており、削減余地はない。</p>
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	<p>農産物の消費拡大を図る取組で、費用負担を求めるものではない。</p>

《総合評価》…上記評価結果の総括

農家所得の向上に向けた商品開発のため、コンテスト入賞作品のアイデアや雑穀に関する情報提供により、「ヒエカレールー」や雑穀を活用した菓子等、雑穀商品の開発・販売に結び付いている。